

日頃より、足立区立中学校教育研究会演劇部の活動にご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。今年度も連合演劇発表会を開催することができることは、生徒はもちろんですが関係者にとってもこの上ない喜びでございます。今年度は足立区内の公立中学校7校が参加をして、例年どおり2日間のプログラムとなっております。生徒たちは、春休みに開催された「春の合同演劇発表会」や、夏休みに開催された「高校演劇サマーフェスティバル 足立区立中学校演劇選抜隊」の活動も含め、日々学校や自宅などで練習を積み重ね本番を迎えます。劇を作り上げるには仲間の協力がなければ成り立ちません。多くの時間を費やし、一人一人が考え仲間と意見を共有し、ここまでたどり着いたことと思います。これまで頑張ってきた仲間と演劇ができることへの喜びや感謝をもち、堂々と演技してほしいと思います。この2日間は他校の発表も観られる貴重な機会ですので、他校の劇の良さを感じ、自分たちのさらなる成長に活かせる機会になると良いです。発表会の開催に際しまして、足立区教育委員会をはじめ、多くの方々のご協力をいただきましたことを感謝申し上げます。

演劇部担当校長 足立区立第十一中学校長 鵜飼 康成

〔会場〕西新井文化センター（ギャラクシティ）

〒120-0011

足立区栗原1-3-1

◎ 東武スカイツリーライン「西新井駅」下車
東口 徒歩3分

※JR常磐線、東京メトロ千代田線、つくばエクスプレス線の場合は北千住駅で東武スカイツリーラインに乗り換え

※東京メトロ日比谷線、半蔵門線は東武スカイツリーラインに直通



- ◎ 開始時刻は目安ですので、余裕をもって早めにお出かけください。（開演中の出入りは原則としてできません。）
- ◎ 場内でのフラッシュ撮影・カメラ付き携帯電話での撮影は厳禁です。また、デジタルカメラの液晶画面の光が鑑賞の妨げになりますので、2階席に設置してご使用ください。座席は1階になります。
- ◎ 携帯電話・アラーム時計等の電源は、あらかじめお切りください。
- ◎ 場内での飲食は禁止されておりますので、ご協力ください。
- ◎ 開幕前の拍手はご遠慮ください。上演後、温かい励ましの拍手をお願いします。

令和7年度

足立区立中学校連合演劇発表会 ＝プログラム＝

令和7年10月30日(木) 9時20分 開場

10月31日(金) 9時15分 開場

会場 西新井文化ホール



令和6年度最優秀作品『よみちにひはくれない』第十四中学校

主催 足立区立中学校教育研究会

第1日 令和7年10月30日(木)

開場 9:20

○開会式

(9:35)

① 『賤作マクベス』

作: 中屋敷法仁 (潤色 十二中学校演劇)

足立区立第十二中校

○閉会

(10:00)

指導: 市川愛美 木村江美子
演劇の大会にシェイクスピア作品「マクベス」で挑もうとする、マナブをはじめとする演劇部員たち。しかし、部員それぞれの方向性やモチベーションの違いから、通し稽古の様子はどんどんおかしくなっていきます……演劇を作り上げていくうえで大切なものは何なのか、演じる部員たちも考えながら作品と向き合いました。さらに、部員全員で意見を出し合いながら令和の人物やアイテムを加えて脚本を潤色させていただきました。最後まで皆さんに楽しんでいただけたら嬉しいです！

② 『PE!PE!PE!PENGUINS!!』

作: 西川 大貴

足立区立第十一中学校

指導: 阿部成

(11:00)

こうしてまた、ペンギンたちのとある一日が過ぎていくのであった——。

となるはずだったが、「空を飛んでみたい」というココの発言に巻き込まれていくペンギン達。「打倒イルカショー」に燃えるキキ。空を飛んでみたいココ。大人なペペ。純真なビガチュウ。元気印のチックとタック。ペンギン愛が深い飼育員の緑川さん。水族館を舞台に、可愛いペンギン達と優しい飼育員のドタバタ元気なショーをお楽しみください。

「水族館での毎日は、同じ事の繰り返しだ、とか思ってる?」「なんでも挑戦しないことには何も見えてこない!」「生まれてから、ずっと同じ状況を変えたい。」

皆さんも一緒に「固定概念を振り払い、大空に飛び立ってはみませんか?」

③ 『Alice ~世界がアリスの夢だったら~』

作: 西本 綾子

足立区立蒲原中学校

指導: 大澤賢俊 鵠田弥香

眠ったまま起きない姉を探しに、ウサギを追って自分も夢の世界に行った椎名朝香。彼女は夢の世界では「アリス」と呼ばれ、姉を探すことになります。チェシャ猫や帽子屋などお馴染みの人物が登場。果たしてアリスは姉を現実世界に取り戻せるのか? 皆さんは現実の世界が辛くて夢の世界で生きていたいと思ったことはありませんか? あるいは、現実の世界が嘘の世界で夢の世界が真実だと思ったことはありませんか?

「不思議の国のアリス」。誰もが知っているこの物語は1865年に刊行され、今年で160年になります。この話をもとに、現代に生きる中学生の心象風景を描きます。あなたは観劇のあと、どちらの世界で生きていくかと思いますか?

④ 『クラゲクライシス』

作: 赤嶺 陽子

足立区立第六中学校

指導: 兼子大暉 原愛海

「僕はくらげ 99%海なのに 1%海になれずに 波を漂う いつか海になれたらいいのになど思いながら」

文芸部2人と演劇部1人。密かに迫る文芸部廃部の危機。文芸部のたまみは演劇部と協力して起死回生の一歩。文化祭で伝説と化した幻の文芸誌『WASABI』を発表しようとはりきるが……。

大勢の中の歯車になることを拒否することへの共感で満たされている3人それぞれは「何者か」になるために、もがき流され、溺れながら、心を通わせ言葉を紡いでいくが…

…。「……私は公演りますよ。頑張りますよ。だから、力ナ先輩!」

(13:50)

第2日 令和7年10月31日(金)

開場 9:15

○開会式

(9:35)

① 『春一番』

作: 斎藤 俊雄

足立区立伊興中学校

指導: 江本健作

こんにちは。伊興中学校演劇部です。

今回の公演でお届けする物語は、ある中学校のお話です。

受験期の最中、部活を引退せずに活動を続いているたった4人の放送部員たち。それ自分が自分の進路や人間関係に悩んでいます。ひとりひとりの想いがあるからこそ、時には対立や誤解が生まれます。それを乗り越え、本音で話し合うことで成長していく。思いを打ち明ける勇気をくれる作品です。

物語の裏で渦巻く登場人物たちの心の機微に注力し、練習を重ねてきました。

是非、登場人物たちの感情の波に注目し、彼、彼らの人生を体感してみてください。

② 『ベンチ』

作: 福島 康夫

足立区立第十中学校

指導: 谷津岳文 西谷昌久 (外部指導員)

ある公園のベンチを舞台に、この物語は展開します。合唱コンクールの時期、クラスのために学級委員と実行委員が奮闘します。しかし、クラスの朝練習に参加しない仲間がでてしまします。この現状を何とかしたい、クラスを一つにまとめ、合唱コンクールを成功させたいという想いが学級委員と実行委員を動かします。しかしその責任感や使命感がうまく伝わらず、二人は自分たちの気持ちを受け止めてもらえなかつと揉めてしまします。合唱コンクールに向けた取り組みの中で、登場人物たちの言動を通して、共感的理解や相手を思いやる大切さ、他者とのかかわりについて考えさせられる作品です。

④ 『コーリング・ユー2025』

作: (原作)堀 潮 (潤色)横山 淳子

足立区立第十四中学校

指導: 横山淳子 湯浅 浩

『コーリング・ユー』1993年に初演されたこの名作を、2025年の今、作者の許可を得て潤色させていただくことに、心から感謝いたします。30年以上の時を経て今なお力強く光を放つこの脚本は、まるで真っ暗闇の宇宙に浮かぶ青い地球のようです。怒りすら覚える胸の痛むニュースばかりが飛び込んでくる、多くの情報が錯綜する今だからこそ、この舞台を創り上げたいと強く思いました。

海が見える丘に建つある中学校の夏8月6日。演劇が大好きな少年少女が集まる演劇部室に、宇宙からのメッセージが届きます。あなたの名前を呼ぶのは、いったい誰ですか。

○閉会